

# ビジュアルコミュニケーション事業 スモールミーティング

2023年 12月 1日

セイコーエプソン株式会社

# 「省・小・精」から生み出す価値で 人と地球を豊かに彩る

エプソンは、豊かな自然や文化に恵まれた信州で誕生しました。

そんな私たちが抱き続けてきたもの、それは「省・小・精」の技術で、人々の暮らしを豊かにしたいという想い、そして、自然の豊かさを守り、未来へつないでいきたいという強い想いです。

これまで世界に先駆けてフロンを撤廃するなど、つねに社会課題に目を向け、誠実に取り組んできました。

そのなかで追求してきたエプソン独自の「省・小・精」。

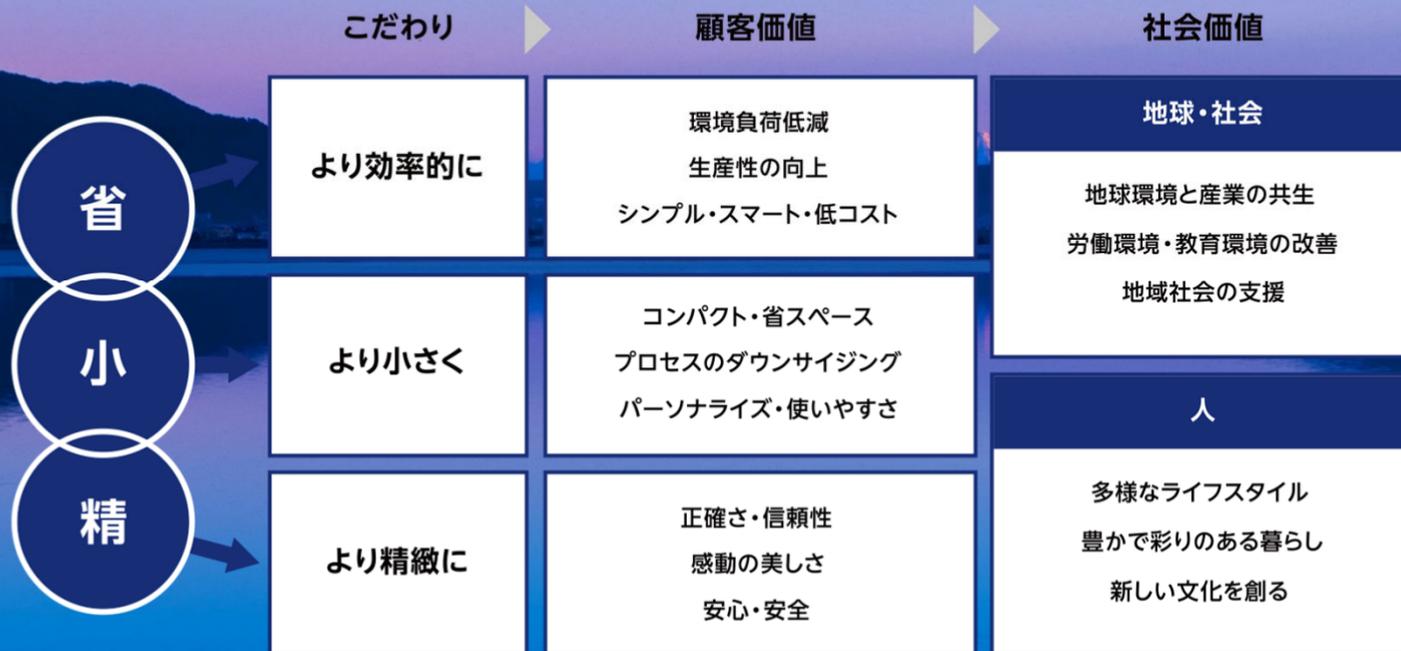
大きいこと、量が多いことだけが豊かさではない。省くこと、小さくすること、精緻さを突き詰めること、これこそが、自然環境にやさしく、人々のこころを豊かにできるものだと思っています。

「省・小・精」から生み出す、より大きな価値で、人と地球を豊かに彩っていきたい。

私たちは、そんな想いを実現していきます。

# 「省・小・精」から生み出す価値

「省・小・精」にこだわった製品やサービスが、顧客価値として世界に広がることで、社会価値を生み出します。



## ■ ビジュアルコミュニケーション事業は、独自のコア技術をベースにした「ビジュアルイノベーション」により、持続可能でこころ豊かな社会を実現



<sup>1)</sup> 2030年度までにGHG排出量を200万トン以上削減 (2017年度比55%削減)

<sup>2)</sup> 2023年までにRE100達成

<sup>3)</sup> 2022年の特許公開件数ランキング(当社調べ)(2022/1/1～12/31)

<sup>4)</sup> 2020年度比

<sup>5)</sup> 売上収益率利益率

<sup>6)</sup> 投下資本利益率

## ■ 感動の映像体験と快適なビジュアルコミュニケーションで 人・モノ・情報・サービスをつなぎ、「学び・働き・暮らし」を支援する

- 循環型経済の牽引
- 産業構造の革新
- 生活の質向上



### 目指す姿

離れていてもリアルなコミュニケーション

世界中のあらゆる場所で質の高い学びを可能に

さまざまな臨場感ある体験が自宅でも

快適なコミュニケーションで働く場所・働き方の選択ができる

多様な働き方  
ライフスタイルの実現

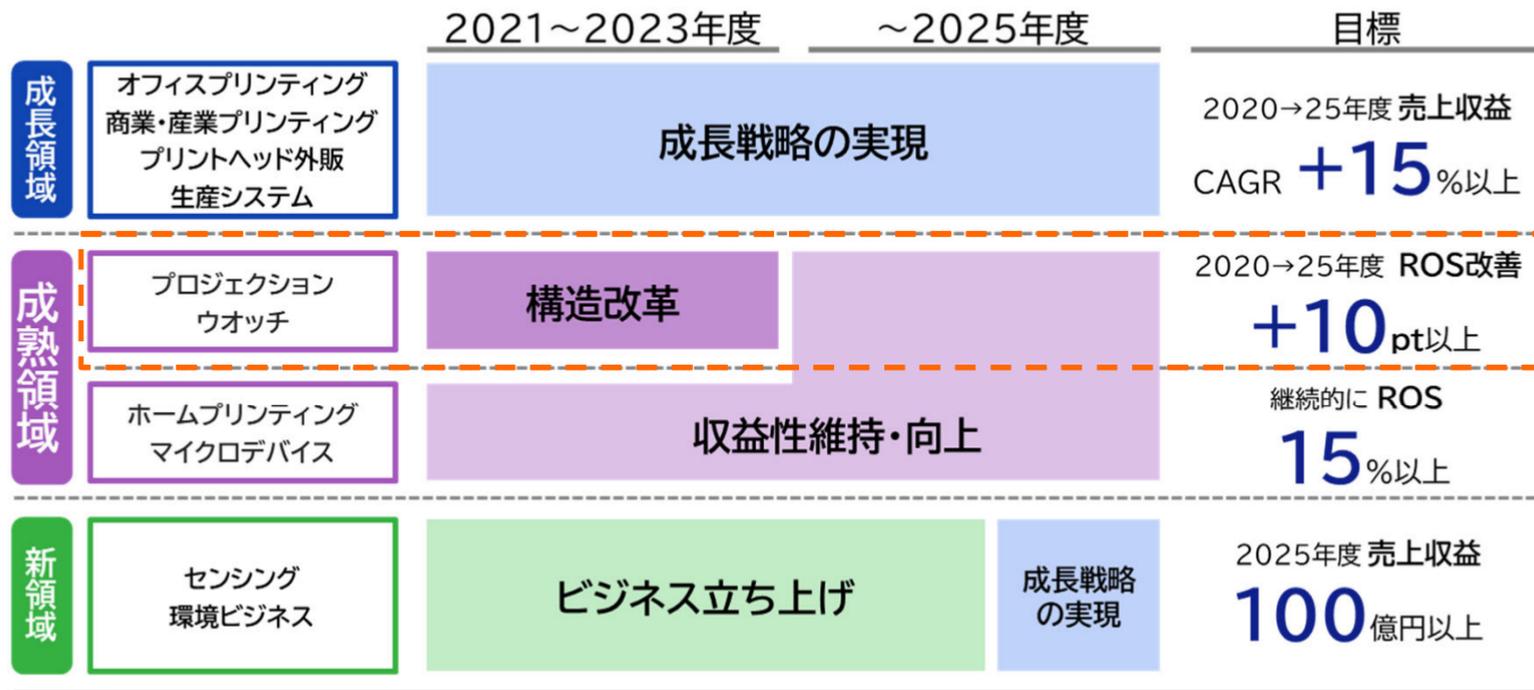
### 提供価値

- 公平で質の高い教育環境
- 生産性と創造性の向上
- 多様な働き方・ライフスタイル支援
- 生活に彩りを提供



# 領域別事業運営の方向性と目標

## ■ ビジュアルコミュニケーション事業(プロジェクション)の構造改革は前倒しで進展



全社ROS目標

2023年度 **8%**以上

2025年度 **10%**以上

## 連結業績

(FY2022)  
 売上収益 **13,303**億円  
 事業利益\* **951**億円

\*事業利益は売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念

- FPDの低価格化によるプロジェクター市場の侵食に続きCOVID-19影響により収益性悪化(FY2018→FY2020)
- 構造改革の進展などにより収益性を大幅に改善

## 売上収益構成比

(FY2022)

マニファクチャリング関連・  
ウェアラブル

16.1%

16.3%

ビジュアル  
コミュニケーション

商業・産業  
プリンティング

オフィス・ホーム  
プリンティング

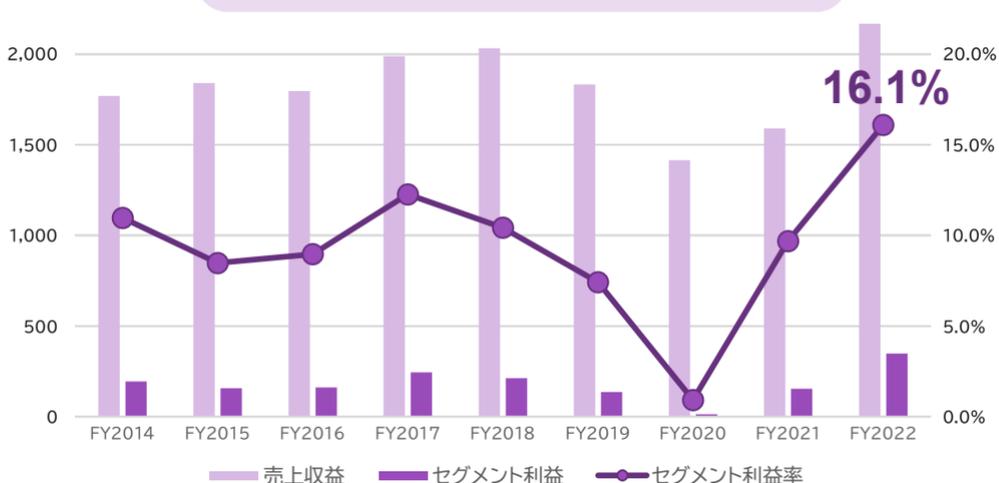
67.6%

プリンティング  
ソリューションズ

## ビジュアルコミュニケーション事業

(FY2022)

(億円)  
 売上収益 **2,168**億円  
 セグメント利益 **348**億円



- デジタルウォッチ用の液晶ディスプレイが技術のルーツ
- プロジェクターの黎明期より市場を先導

## 1973

世界初、6桁液晶ディスプレイ搭載  
デジタルクォーツウォッチ



## 1982

世界初、テレビウォッチ



## 1984

世界初、液晶ポケットカラーテレビ



## 1989

エプソンブランド初の液晶プロジェクター  
VPJ-700



マイクロディスプレイ(液晶)技術 **50**年超

プロジェクション技術 **30**年超

## ■ さまざまな用途に豊富なラインアップを展開

高光束

イベント



ビジネス

企業



教育



ホーム・スマート

家庭



HMD



高光束|High Brightness:10,000lm以上のプロジェクター  
ビジネス|Business:教育・企業向けの10,000lm未満のプロジェクター  
ホーム|Home:500lm以上 家庭向けプロジェクター(スマートを除く)  
スマート|Smart Projector:500lm以上で、独立してネットワーク接続が可能かつ動画配信サービス等が利用可能なプロジェクター

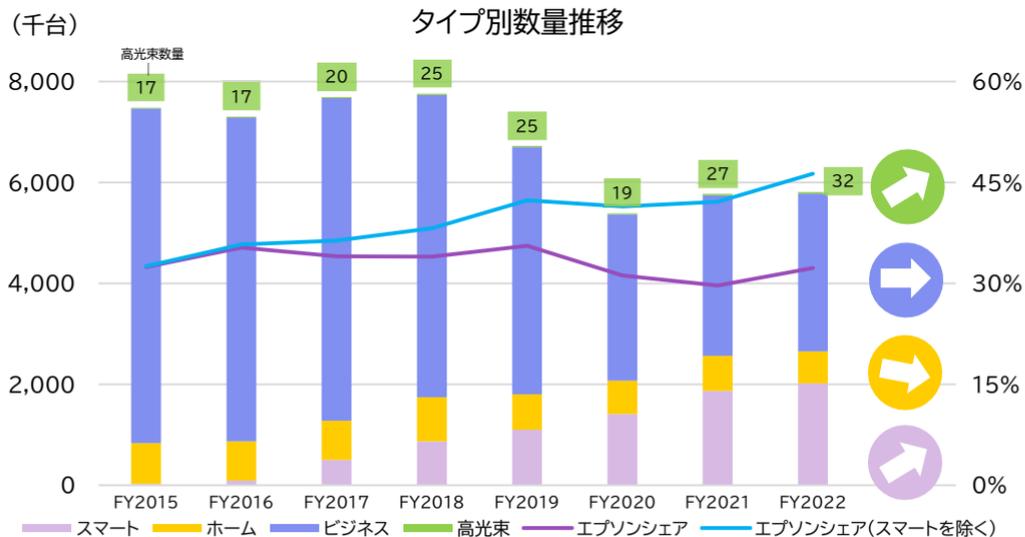
# プロジェクター市場とシェア

## ■ エプソンがビジネス市場の開拓と成長をけん引

- 既存領域(ビジネス、ホーム) は、FPD低価格化の影響が弱まり、市場サイズは安定化傾向
- エプソンは圧倒的なプレゼンスを維持・拡大させていく

## ■ 高光束・スマートで市場拡大・シェア拡大の余地

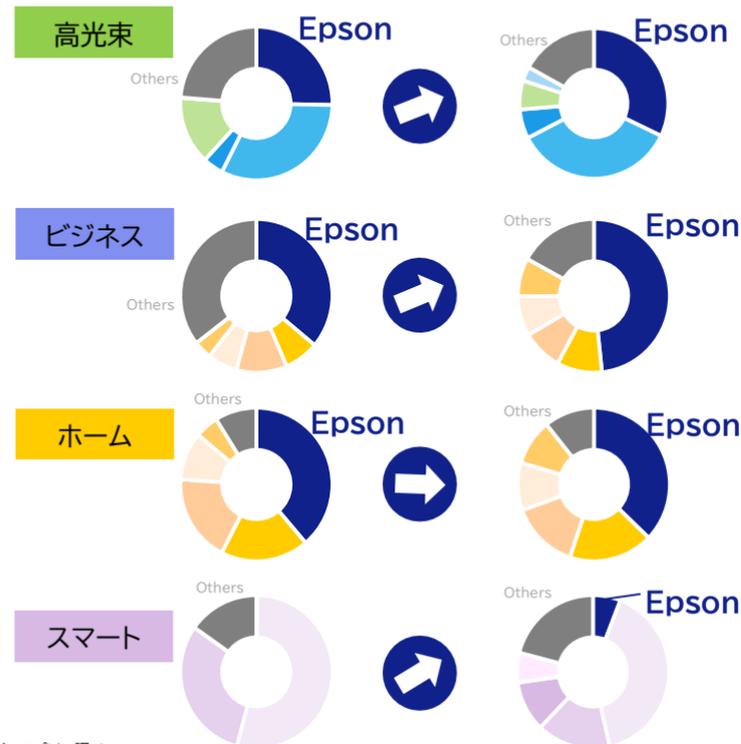
- 技術進化・製品ラインアップ拡充で着実にシェア伸長させていく



タイプ別のエプソンシェア

FY2017

FY2022



- 高光束:北米・欧州に加え、中東・中国・インドでも需要が拡大
- スマート:中国における市場拡大に加え、各国でも拡大・成長の兆し

## 高光束市場の拡大

各国での文化・観光への重点投資が追い風



## スマート市場の拡大

動画配信サービスの浸透による  
若年層のライフスタイルとの適合や、  
競合メーカーのグローバル進出が拡大を後押し



## ■ ハードウェアとデジタルサービスの進化、グローバルの顧客接点強化で競争優位を継続

高光束

ビジネス

ホーム・スマート

ハードウェア



高信頼性・小型・軽量  
ラインアップ強化



プラットフォーム設計により  
効率的にラインアップ強化



ラインアップ強化

×

デジタル  
サービス



状態監視・管理・制御ソフトウェアによる  
安定稼働・管理工数削減



遠隔機器制御・管理含む  
新たな購入プログラム

×

顧客接点

販売チャネルの拡充  
共創パートナーとの関係を強化

グローバル販売拠点

60+

各国の主要販売チャネル・  
文教機関との強固な関係維持

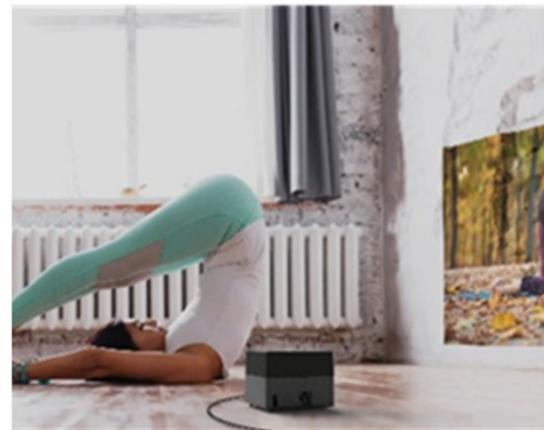


スマートフォンアプリによる  
マーケティング力・顧客接点強化  
プラットフォームとの連携強化



生活に  
彩を!

様々な  
体験が  
自宅でも



世界中の  
良質な学  
びを支援

遠隔でも  
リアルコ  
ミュニー  
ション



**EPSON**

## 補足資料

---

## ■ 強い顧客接点を活用し、ニーズに応える製品を投入



業界に先駆け  
インタラクティブプロジェクター市場を開拓



オートフォーカス・オートキーストーン搭載  
(設置時間短縮)

Projector Professional Tool  
(設置・操作性向上)



コンパクト・軽量  
(運搬コスト、設置性向上)



クローズドキャプション搭載  
(字幕表示)



防塵性能強化  
(耐環境性)



ハンドルり体型  
(設置性向上)



複数台設置  
補正用カメラ搭載  
(調整時間短縮)



ゼロオフセットレンズ  
(設置性向上)

## ■ 強い顧客接点を活用し、ニーズに応える製品を投入



ホーム機種初の超短焦点  
(壁際に置くだけ)



3,000lm  
(明るいリビングで使用可能)



スマートプロジェクター  
オールインワン、小型、設置後自動調整、  
YAMAHAスピーカー  
(運搬と設置が容易)



中国向けスマートプロジェクター

2003年  
初のホーム機種  
480p  
(映画観賞用)



縦横  
レンズシフト  
(設置性向上)



レーザー光源 & 4K\*  
HDR対応  
(高い色再現性)



新コンセプト  
DVD、スピーカー一体型  
(家電感覚で簡単)



ドングル対応  
天井投射  
(運搬と設置が容易)

\*シフト技術を採用した4K相当の解像度となります

# プロジェクターの特長

- 自由な映像表現が可能
  - 投写面のサイズ・形状を選ばず、多彩な映像表現
  - 複数台の組み合わせ
- 小型・軽量を活かした可搬性

200インチ前後のディスプレイ実現時の本体重量比  
LCD・LEDに対して、約1/10～1/20（エプソン調べ）



プロジェクター  
EB-PU22/PU21/PU20/PU10シリーズ

約25kg



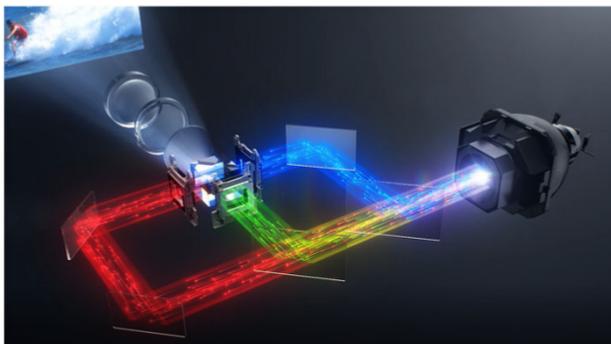
16～49units  
約300\*1～500\*2kg

\*1:55インチパネルを16枚用いた場合  
\*2:28インチパネルを49枚用いた場合



## 3LCD方式

- 明るく美しく、色鮮やかで忠実な色合いの画像・映像を投写



赤、緑、青の三原色に分離された光源と、各色専用のLCDで画像を生成し、プリズムで合成することで数百万色の映像を作成



3LCD方式



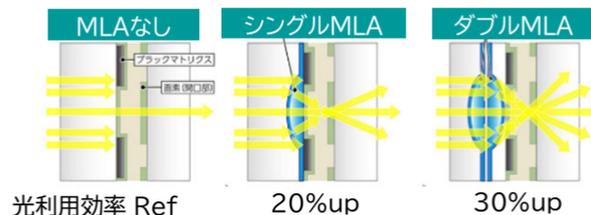
他の主要方式

## 独自のLCDパネル

- HTPS(高温ポリシリコン液晶)パネルを自社で開発・製造
- MLAなどにより高性能を実現

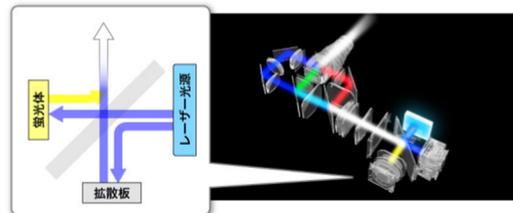


MLA (マイクロレンズアレイ): 遮光部の光をレンズの屈折により開口部に集める技術



## レーザー光源

- 長寿命、高効率で色再現性の高い光学エンジンを実現



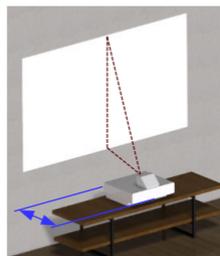
青色レーザーからの光を独自の蛍光体技術と光学設計により波長変換し黄色光源を生成し、合成して白色光を生成する技術

- 新たな価値創造を支える周辺技術群
- 世界No.1の知財力\*

\*2012～2021年における登録特許累積数(中国、欧州、日本、米国)  
2022年11月16日調査時点

## 超短焦点投写技術

- 自由度の高い設置性を実現



## カメラ応用技術

- 内蔵カメラと設置調整ソフトウェアによるブレンドング投写



内蔵カメラ



## 熱対策技術

- 液体冷却技術により長期信頼性を確保



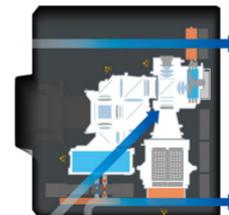
冷却性能と密閉性を  
両立した光学エンジン

液晶パネルも  
液体冷却

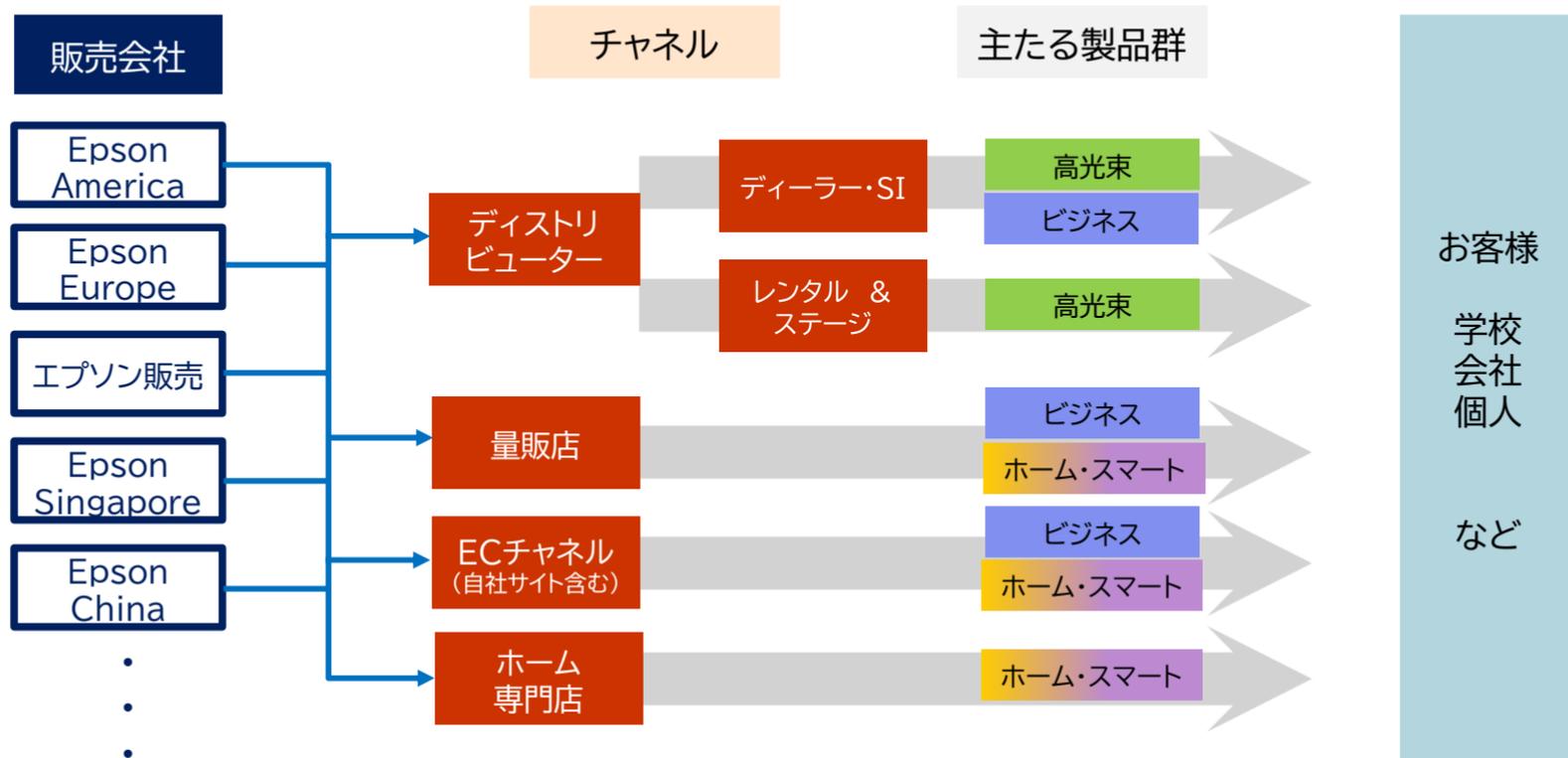


## 防塵対策技術

- 密閉構造と吸排気の最適化技術による高い防塵性能
- 性能劣化防止によりメンテナンス頻度を低減



## ■ お客様ニーズに対応する販売チャネル



- 開発・設計拠点は日本、製造拠点はアジアに集約
- 販売・サービス拠点はグローバルに展開し、タイムリーにニーズを把握・価値提供

## 開発・設計



## 製造



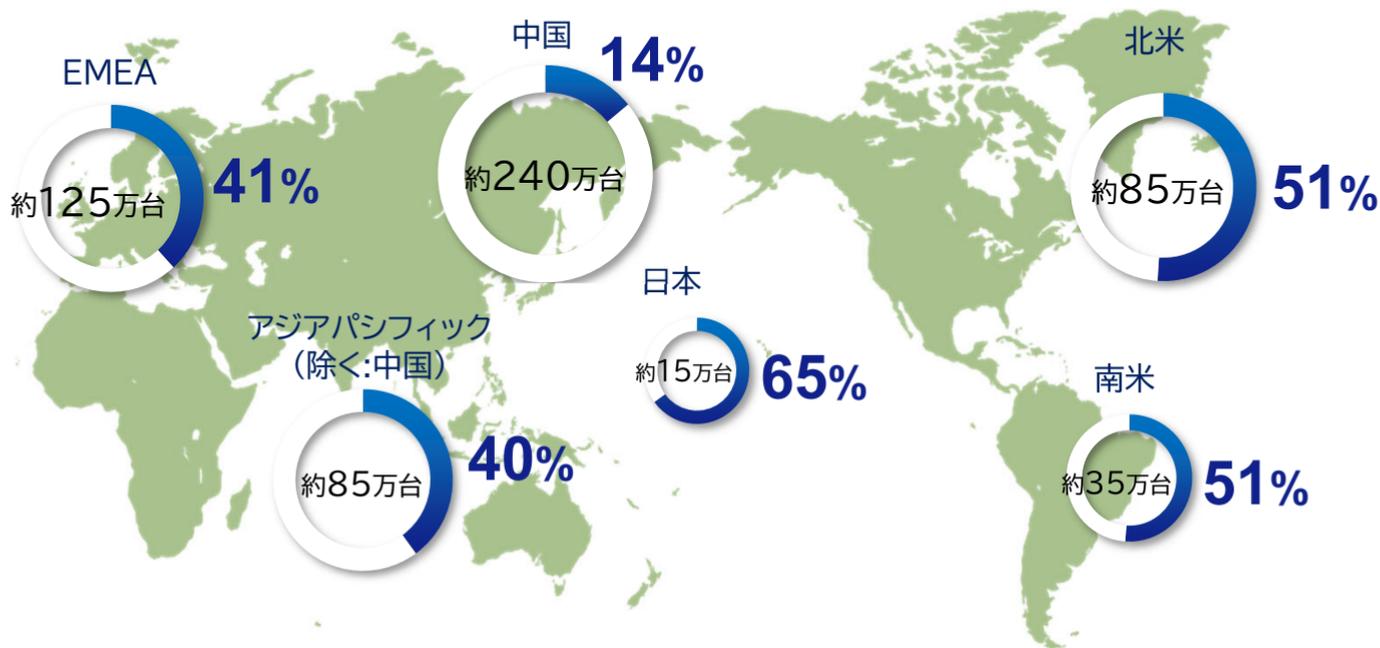
## 販売・サービス

世界中のお客様とつながる販売・サービス拠点



- 各地域でのシェア維持・向上へ向け取り組みを継続する

地域別市場サイズとエプソンシェア  
(FY2022)



**EPSON**